



確かな学力の向上をめざして【1月】

■幼児教育と小学校教育の円滑な接続～教育をつなぐ～

令和3年が始まり、4月から小学校生活が始まる子ども達は、入学を楽しみにしている反面、今年度は小学校との交流活動が少なかったため、不安もあると思います。こんな時だからこそ、子ども達が安心して学校生活がスタートできるようスタートカリキュラムの確認・見直し等準備を開始していきましょう。

スタートカリキュラムは「自己を発揮」できるものに

今年度から使用している生活科の教科書には、スタートカリキュラムについて、保護者に向けて次のような記載があります。

小学校入学直後には、幼児期に育まれている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を生かすことができるよう、「スタートカリキュラム」が行われます。そこでは、児童が安心して自己を発揮できるよう、生活科を中心に他教科等を組み合わせた授業や、弾力的な時間割の設定などの工夫が行われます。
「東京書籍『どきどきわくわくあたらしいせいかつ』より一部引用」

自校のカリキュラムは、4月に入学してくる子ども達が「安心して」「自己を発揮」できる内容になっているでしょうか。次の項目を手がかりにして、確認してみましょう。

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をふまえた指導の工夫
- 生活科を中心とした合科的・関連的な指導
- 短時間学習などを含めた時間割の工夫
- 園で経験した遊び・体験活動を活用
- 園での環境構成（視覚支援等）を活用した学びやすい環境づくり

（「鳥取県幼保小接続ハンドブック～育ちと学びをつなぐ～平成30年3月」P14）

幼児期のことを知るためには、園との連携が欠かせないね。

園の様子を動画で見せてもらうのも効果的！



心と体を十分に働かせる

自分のやりたいことに向かう

身近な環境に主体的に関わる

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、小学校のスタート時の姿です。幼児期の育ちや学びをゼロにしないために、カリキュラムの見直しや改善が大切です。

いきいきと学びに向かうためのカリキュラムを目指すんだね！

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について→



校区の「教育をつなぐ」ために～幼保小接続アドバイザーの活用～

幼保小の接続をより円滑にするために、今年度から「幼保小接続アドバイザー」を配置しています。ぜひ校区でもアドバイザーをご活用ください。

【活用例～三朝町の取組～】

小学校区にある3つの園の先生と小学校教員、担当課でカリキュラム検討会を行いました。

校区の「めざす子どもの姿」や園での育ちや学びがどのように小学校につながるかなどについて、実態を基に共有していきました。接続期の理解が深まったことがカリキュラムの改善につながっています。



専門的な話が聞いて理解が深まりました。

助言をもらいながら改善できてよかったです。

気軽に相談できるのがありがたいです。

学校や園の全職員がカリキュラムの考え方やねらいを理解し、協力することができれば、もっと円滑に接続できるね！校内での共有も進めていきましょう。

